



平成27年4月30日

各 位

会 社 名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティー・グループ
代表者名 代表取締役社長 ホーン・チョン・タ
(コード番号：9704 東証第1部)
問合せ先 取締役CFO 佐藤 暢樹
(TEL 03-3436-1860)

(訂正・数値データ訂正) 「平成26年12月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は平成26年5月14日に開示しました「平成26年12月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正しましたのでお知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成27年3月20日付「社内調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」および平成27年4月30日付「『平成26年12月期 有価証券報告書の提出』および『過年度に係る有価証券報告書等および内部統制報告書の訂正報告書の提出』並びに『過年度に係る決算短信等の訂正』に関するお知らせ」にて開示しておりますので、ご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年5月14日

上場会社名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティ・グループ 上場取引所 東
 コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ホーン・チョン・タ
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 暢樹 TEL 03-3436-1860
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	1,687	△0.9	△73	—	△110	—	△137	—
25年12月期第1四半期	1,703	105.2	7	55.6	61	△12.2	37	△30.0

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △161百万円 (—%) 25年12月期第1四半期 △2百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△0.50	—
25年12月期第1四半期	0.14	0.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	16,754	7,640	45.2
25年12月期	17,197	7,795	45.0

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 7,573百万円 25年12月期 7,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無
平成26年12月期の配当は未定とさせていただきます。

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,570	5.4	45	—	△80	—	△95	—	△0.35
通期	7,710	9.1	320	—	140	—	20	—	0.07

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名） 、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期1Q	274,158,934株	25年12月期	274,158,934株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	166,923株	25年12月期	166,423株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期1Q	273,992,178株	25年12月期1Q	273,997,888株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. <u>継続企業の前提に関する重要事象等</u>	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策と金融緩和策による景気の下支え効果を背景に、緩やかな回復傾向を見せました。しかしながら、消費税率の引上げが個人消費に与える影響への懸念や、新興国の成長率鈍化といった世界経済の波乱要因もあり、引続き予断を許さない状況が続いています。

そのようななか、当社グループにおける当第 1 四半期連結累計期間の連結業績は、売上高ではほぼ前年同四半期並みの 1,687 百万円（前年同四半期比 0.9% 減）となり、利益面では、宿泊事業部門において間接費を上回るだけの売上総利益を確保することができず、また、霊園事業部門において営業損失を計上したこと等から、営業損失で 73 百万円（前年同四半期は営業利益 7 百万円）となりました。また、外国為替相場が期末にかけ円高に進み営業外損益が悪化したこと等により、経常損失は 110 百万円（前年同四半期は経常利益 61 百万円）、四半期純損失は 137 百万円（前年同四半期は四半期純利益 37 百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 宿泊事業

宿泊事業部門におきましては、売上高はほぼ前年同四半期並みの 1,512 百万円となりましたが、利益面では主にホテル事業に関わる販管費の負担が大きく、営業損失は 7 百万円（前年同四半期は営業利益 25 百万円）となりました。

② 住宅等不動産開発事業

住宅等不動産開発事業部門におきましては、引続き入居率の維持確保と適宜適切な賃貸家賃の見直しに努めた結果、売上高は前年同四半期をやや上回る 74 百万円（前年同四半期比 3.2% 増）となり、営業利益は 41 百万円（前年同四半期比 14.9% 増）となりました。

③ 霊園事業

霊園事業部門におきましては、引続き販売は順調に推移し売上高はほぼ前年同四半期並みの 100 百万円（前年同四半期比 1.8% 減）となったものの、利益面では、売上総利益率が低下したことから、営業損失は 27 百万円（前年同四半期は営業損失 12 百万円）となりました。

④ 証券投資事業

証券投資事業部門におきましては、期末にかけ進んだ円高並びに香港株式市場の株安の影響等により、当社が保有・運用する外貨建ての外国証券に係る為替差損および評価損失が発生し、営業損失は 23 百万円（前年同四半期は営業利益 16 百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第 1 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて 2.6% 減少し、16,754 百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて 8.3% 減少し、2,877 百万円となりました。これは、現金及び預金が 152 百万円、開発事業等支出金が 38 百万円減少したことなどによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて 1.2% 減少し 13,770 百万円となりました。これは、有形固定資産が 84 百万円減少したことなどによりです。

(負債)

当第 1 四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて 3.1% 減少し、9,114 百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて 11.6% 減少し、1,611 百万円となりました。これは、未払金が 124 百万円減少したことなどによりです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて 1.0% 減少し、7,502 百万円となりました。これは、長期借入金が 53 百万円、匿名組合出資預り金が 19 百万円減少したことなどによりです。

(純資産)

当第 1 四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて 2.0% 減少し、7,640 百万円となりました。これは、利益剰余金が 137 百万円減少したことなどによりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきましては、現時点で平成26年2月13日に公表いたしました平成26年12月期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社グループでは、貯蔵品の評価方法について、従来、主として先入先出法を採用しておりましたが、新システム導入を機に、業務処理の迅速化・効率化の観点から業務の見直しを行った結果、主として移動平均法(一部の連結子会社については最終仕入原価法)を採用することが妥当であると判断しました。なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは継続的に営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況を解消すべく、主に以下の内容の諸施策を継続的に実施しております。

① 宿泊事業

守ロイヤルパインズホテル(平成24年8月1日「ホテル・アゴーラ大阪守ロ」としてリニューアルオープン)、浅草ビスタホテル(平成24年7月27日「アゴーラ・プレイス浅草」としてリニューアルオープン)、リーガロイヤルホテル堺(平成24年10月1日「ホテル・アゴーラリージェンシー堺」としてリニューアルオープン)の取得等により大幅に事業を拡大してまいりました。今後も、経営資源を共有化することにより運營業務の集約・効率化を図るなど収益力の向上に取り組んでまいります。

② 住宅等不動産開発事業

所有している都内賃貸マンションは満室化を目標にコストの低減をはかり収益性を向上させてまいります。

③ 霊園事業

新しい納骨堂の建設を行い、納骨堂の販売に伴う大幅な売上の増加を図ってまいります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,324,851	1,172,747
売掛金	341,324	290,058
有価証券	394,020	370,424
貯蔵品	79,231	49,459
開発事業等支出金	<u>566,810</u>	<u>527,842</u>
その他	434,380	472,054
貸倒引当金	<u>△3,216</u>	<u>△5,224</u>
流動資産合計	<u>3,137,402</u>	<u>2,877,361</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,143,513	4,079,045
車両運搬具（純額）	10,713	9,693
工具、器具及び備品（純額）	86,369	76,185
土地	3,306,726	3,306,726
住宅用賃貸不動産（純額）	4,694,178	4,685,088
有形固定資産合計	<u>12,241,500</u>	<u>12,156,739</u>
無形固定資産		
借地権	5,000	5,000
商標権	4,814	4,689
ソフトウェア	31,297	29,219
のれん	<u>1,276,047</u>	<u>1,252,583</u>
電話加入権	364	364
無形固定資産合計	<u>1,317,524</u>	<u>1,291,856</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	<u>72,071</u>	<u>74,393</u>
長期貸付金	224,373	196,456
その他	85,443	50,714
投資その他の資産合計	<u>381,888</u>	<u>321,564</u>
固定資産合計	<u>13,940,914</u>	<u>13,770,160</u>
繰延資産	119,084	106,924
資産合計	<u>17,197,400</u>	<u>16,754,446</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	284,829	251,049
短期借入金	30,000	-
1年内返済予定の長期借入金	214,379	213,670
未払金	<u>852,302</u>	728,223
未払費用	10,152	9,392
未払法人税等	34,359	10,566
賞与引当金	-	17,135
ポイント引当金	618	496
その他	396,373	380,756
流動負債合計	<u>1,823,014</u>	1,611,291
固定負債		
長期借入金	4,166,927	4,113,692
匿名組合出資預り金	2,753,663	2,734,537
長期預り保証金	603,719	602,090
繰延税金負債	10,140	8,668
その他	44,527	43,911
固定負債合計	<u>7,578,978</u>	7,502,900
負債合計	<u>9,401,993</u>	9,114,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,415,834	11,415,834
資本剰余金	5,105,960	5,105,960
利益剰余金	<u>△8,731,795</u>	<u>△8,869,408</u>
自己株式	△12,368	△12,392
株主資本合計	<u>7,777,631</u>	<u>7,639,994</u>
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	<u>△44,235</u>	<u>△66,771</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>△44,235</u>	<u>△66,771</u>
新株予約権	53,648	59,858
少数株主持分	8,363	7,173
純資産合計	<u>7,795,406</u>	<u>7,640,254</u>
負債純資産合計	<u>17,197,400</u>	<u>16,754,446</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年 3 月 31 日)
売上高	1,703,560	1,687,740
売上原価	<u>1,134,113</u>	<u>1,172,016</u>
売上総利益	<u>569,446</u>	<u>515,723</u>
販売費及び一般管理費	<u>561,943</u>	<u>589,317</u>
営業利益又は営業損失 (△)	<u>7,503</u>	<u>△73,593</u>
営業外収益		
受取利息	56	1,230
受取配当金	-	180
為替差益	96,878	19,221
消費税等免税益	17,217	-
その他	7,662	10,859
営業外収益合計	<u>121,814</u>	<u>31,491</u>
営業外費用		
支払利息	17,826	23,929
持分法による投資損失	<u>31,369</u>	<u>31,018</u>
開業費償却	9,509	12,159
その他	9,005	1,567
営業外費用合計	<u>67,710</u>	<u>68,676</u>
経常利益又は経常損失 (△)	<u>61,606</u>	<u>△110,778</u>
特別利益		
投資有価証券売却益	1,817	-
特別利益合計	<u>1,817</u>	<u>-</u>
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益又は純損失 (△)	<u>63,424</u>	<u>△110,778</u>
匿名組合損益分配額	18,027	29,270
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	<u>45,396</u>	<u>△140,048</u>
法人税、住民税及び事業税	8,156	1,078
法人税等調整額	-	△2,324
法人税等合計	<u>8,156</u>	<u>△1,246</u>
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	<u>37,240</u>	<u>△138,802</u>
少数株主損失 (△)	△424	△1,189
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	<u>37,664</u>	<u>△137,612</u>

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年 3 月 31 日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	<u>37,240</u>	<u>△138,802</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,228	—
為替換算調整勘定	<u>△38,591</u>	<u>△22,535</u>
その他の包括利益合計	<u>△39,819</u>	<u>△22,535</u>
四半期包括利益	<u>△2,579</u>	<u>△161,337</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△2,154</u>	<u>△160,148</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△424	△1,189

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	住宅等不動 産開発事業	霊園事業	証券投資 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,511,848	72,357	102,881	16,472	1,703,560	—	1,703,560
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,511,848	72,357	102,881	16,472	1,703,560	—	1,703,560
セグメント利益	25,941	36,042	<u>△12,636</u>	16,472	<u>65,820</u>	△58,317	<u>7,503</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△58,317千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	住宅等不動 産開発事業	霊園事業	証券投資 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,512,085	74,655	100,999	—	1,687,740	—	1,687,740
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,512,085	74,655	100,999	—	1,687,740	—	1,687,740
セグメント利益又は損失(△)	<u>△7,748</u>	41,411	<u>△27,546</u>	△23,770	<u>△17,653</u>	△55,940	<u>△73,593</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△55,940千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(訂正前)



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年5月14日

上場会社名 株式会社アゴラ・ホスピタリティ・グループ 上場取引所 東
 コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ホーン・チョン・タ
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 暢樹 TEL 03-3436-1860
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	1,687	△0.9	△71	—	△108	—	△135	—
25年12月期第1四半期	1,703	105.2	21	107.3	75	△0.0	51	△12.8

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △239百万円 (—%) 25年12月期第1四半期 407百万円 (△38.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△0.49	—
25年12月期第1四半期	0.19	0.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	21,169	12,055	56.6
25年12月期	21,678	12,288	56.4

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 11,988百万円 25年12月期 12,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
平成26年12月期の配当は未定とさせていただきます。

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,570	5.4	45	—	△80	—	△95	—	△0.35
通期	7,710	9.1	320	—	140	—	20	—	0.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名） 、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期1Q	274,158,934株	25年12月期	274,158,934株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	166,923株	25年12月期	166,423株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期1Q	273,992,178株	25年12月期1Q	273,997,888株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
<u>3. 四半期連結財務諸表</u>	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策と金融緩和策による景気の下支え効果を背景に、緩やかな回復傾向を見せました。しかしながら、消費税率の引上げが個人消費に与える影響への懸念や、新興国の成長率鈍化といった世界経済の波乱要因もあり、引続き予断を許さない状況が続いています。

そのようななか、当社グループにおける当第 1 四半期連結累計期間の連結業績は、売上高ではほぼ前年同四半期並みの 1,687 百万円（前年同四半期比 0.9% 減）となり、利益面では、宿泊事業部門において間接費を上回るだけの売上総利益を確保することができず、また、霊園事業部門において営業損失を計上したこと等から、営業損失で 71 百万円（前年同四半期は営業利益 21 百万円）となりました。また、外国為替相場が期末にかけ円高に進み営業外損益が悪化したこと等により、経常損失は 108 百万円（前年同四半期は経常利益 75 百万円）、四半期純損失は 135 百万円（前年同四半期は四半期純利益 51 百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 宿泊事業

宿泊事業部門におきましては、売上高はほぼ前年同四半期並みの 1,512 百万円となりましたが、利益面では主にホテル事業に関わる販管費の負担が大きく、営業損失は 20 百万円（前年同四半期は営業利益 25 百万円）となりました。

② 住宅等不動産開発事業

住宅等不動産開発事業部門におきましては、引続き入居率の維持確保と適宜適切な賃貸家賃の見直しに努めた結果、売上高は前年同四半期をやや上回る 74 百万円（前年同四半期比 3.2% 増）となり、営業利益は 41 百万円（前年同四半期比 14.9% 増）となりました。

③ 霊園事業

霊園事業部門におきましては、引続き販売は順調に推移し売上高はほぼ前年同四半期並みの 100 百万円（前年同四半期比 1.8% 減）となったものの、利益面では、売上総利益率が低下したことから、営業損失は 12 百万円（前年同四半期は営業利益 1 百万円）となりました。

④ 証券投資事業

証券投資事業部門におきましては、期末にかけ進んだ円高並びに香港株式市場の株安の影響等により、当社が保有・運用する外貨建ての外国証券に係る為替差損および評価損失が発生し、営業損失は 23 百万円（前年同四半期は営業利益 16 百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第 1 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて 2.3% 減少し、21,169 百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて 3.9% 減少し、8,529 百万円となりました。これは、現金及び預金が 152 百万円、開発事業等支出金が 128 百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて 1.2% 減少し 12,532 百万円となりました。これは、有形固定資産が 84 百万円減少したことなどによります。

(負債)

当第 1 四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて 2.9% 減少し、9,114 百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて 11.0% 減少し、1,611 百万円となりました。これは、未払金が 111 百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて 1.0% 減少し、7,502 百万円となりました。これは、長期借入金が 53 百万円、匿名組合出資預り金が 19 百万円減少したことなどによります。

(純資産)

当第 1 四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて 1.9% 減少し、12,055 百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が 103 百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきましては、現時点で平成26年2月13日に公表いたしました平成26年12月期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社グループでは、貯蔵品の評価方法について、従来、主として先入先出法を採用しておりましたが、新システム導入を機に、業務処理の迅速化・効率化の観点から業務の見直しを行った結果、主として移動平均法（一部の連結子会社については最終仕入原価法）を採用することが妥当であると判断しました。なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,324,851	1,172,747
売掛金	341,324	290,058
有価証券	394,020	370,424
貯蔵品	79,231	49,459
開発事業等支出金	<u>6,308,783</u>	<u>6,180,419</u>
その他	434,380	472,054
貸倒引当金	<u>△3,216</u>	<u>△5,224</u>
流動資産合計	<u>8,879,374</u>	<u>8,529,938</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,143,513	4,079,045
車両運搬具（純額）	10,713	9,693
工具、器具及び備品（純額）	86,369	76,185
土地	3,306,726	3,306,726
住宅用賃貸不動産（純額）	4,694,178	4,685,088
有形固定資産合計	<u>12,241,500</u>	<u>12,156,739</u>
無形固定資産		
借地権	5,000	5,000
商標権	4,814	4,689
ソフトウェア	31,297	29,219
電話加入権	364	364
無形固定資産合計	<u>41,476</u>	<u>39,273</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	<u>87,238</u>	<u>89,559</u>
長期貸付金	224,373	196,456
その他	85,443	50,714
投資その他の資産合計	<u>397,055</u>	<u>336,731</u>
固定資産合計	<u>12,680,033</u>	<u>12,532,744</u>
繰延資産	119,084	106,924
資産合計	<u>21,678,491</u>	<u>21,169,606</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	284,829	251,049
短期借入金	30,000	-
1年内返済予定の長期借入金	214,379	213,670
未払金	<u>839,939</u>	728,223
未払費用	10,152	9,392
未払法人税等	34,359	10,566
賞与引当金	-	17,135
ポイント引当金	618	496
その他	396,373	380,756
流動負債合計	<u>1,810,651</u>	1,611,291
固定負債		
長期借入金	4,166,927	4,113,692
匿名組合出資預り金	2,753,663	2,734,537
長期預り保証金	603,719	602,090
繰延税金負債	10,140	8,668
その他	44,527	43,911
固定負債合計	<u>7,578,978</u>	7,502,900
負債合計	<u>9,389,630</u>	9,114,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,415,834	11,415,834
資本剰余金	5,105,960	5,105,960
利益剰余金	<u>△2,832,550</u>	<u>△2,967,620</u>
自己株式	△12,368	△12,392
株主資本合計	<u>13,676,876</u>	<u>13,541,781</u>
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	<u>△1,450,026</u>	<u>△1,553,398</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>△1,450,026</u>	<u>△1,553,398</u>
新株予約権	53,648	59,858
少数株主持分	8,363	7,173
純資産合計	<u>12,288,861</u>	<u>12,055,415</u>
負債純資産合計	<u>21,678,491</u>	<u>21,169,606</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年 3 月 31 日)
売上高	1,703,560	1,687,740
売上原価	1,143,216	1,192,939
売上総利益	560,343	494,801
販売費及び一般管理費	538,478	565,852
営業利益又は営業損失 (△)	21,865	△71,051
営業外収益		
受取利息	56	1,230
受取配当金	-	180
為替差益	96,878	19,221
消費税等免税益	17,217	-
その他	7,662	10,859
営業外収益合計	121,814	31,491
営業外費用		
支払利息	17,826	23,929
持分法による投資損失	31,417	31,018
開業費償却	9,509	12,159
その他	9,005	1,567
営業外費用合計	67,758	68,676
経常利益又は経常損失 (△)	75,921	△108,235
特別利益		
投資有価証券売却益	1,817	-
特別利益合計	1,817	-
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益又は純損失 (△)	77,738	△108,235
匿名組合損益分配額	18,027	29,270
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	59,711	△137,506
法人税、住民税及び事業税	8,156	1,078
法人税等調整額	-	△2,324
法人税等合計	8,156	△1,246
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	51,554	△136,260
少数株主損失 (△)	△424	△1,189
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	51,979	△135,070

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年 3 月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	<u>51,554</u>	<u>△136,260</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,228	-
為替換算調整勘定	<u>357,464</u>	<u>△103,371</u>
その他の包括利益合計	<u>356,236</u>	<u>△103,371</u>
四半期包括利益	<u>407,791</u>	<u>△239,632</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>408,215</u>	<u>△238,442</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△424	△1,189

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第 1 四半期連結累計期間(自平成25年 1 月 1 日至平成25年 3 月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,511,848	72,357	102,881	16,472	1,703,560	—	1,703,560
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,511,848	72,357	102,881	16,472	1,703,560	—	1,703,560
セグメント利益	25,941	36,042	<u>1,725</u>	16,472	<u>80,183</u>	△58,317	<u>21,865</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△58,317千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第 1 四半期連結累計期間(自平成26年 1 月 1 日至平成26年 3 月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,512,085	74,655	100,999	—	1,687,740	—	1,687,740
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,512,085	74,655	100,999	—	1,687,740	—	1,687,740
セグメント利益又は損失(△)	<u>△20,111</u>	41,411	<u>△12,640</u>	△23,770	<u>△15,110</u>	△55,940	<u>△71,051</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△55,940千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。